

黒埼南ふれあい協議会ニュース

第22号

ふれあいかわら版

「西区政懇談会」と「南ふれ協総会」を同時に開催!!

去る5月28日(土)、「黒埼南部公民館・黒埼南まちづくりセンター」において、西区政懇談会と黒埼南ふれあい協議会(以下、「南ふれ協」という。)の総会を同時に開催いたしました。

西区政懇談会は、南ふれ協の管内では初めての開催となりました。最初に鈴木亨西区長が、区政の諸課題を説明。続いて、南ふれ協から議題の提案を行い、提案に対する区の考えをお聞きしました。

[鈴木亨西区長の説明要旨]

地域との意見交換、情報交換は、地域との信頼関係に有益。良い仕事につながる。東日本大震災には多くの職員を派遣してきた。避難民の受入も行っているが、復興には元気を出していくことが大事である。

7月2日、3日の「みどりと森の運動公園」のオープン記念には、BCリーグ後期戦の開幕試合、サッカー教室の開催、郷土芸能、農産物の販売などを計画している。7月16日には存在する動物或いは空想する動物を公園内に展示する空想動物遊園も計画している。

8月3日から10日間ほど、大学野球の中央大学が「みどりと森の運動公園」を利用して合宿を行う。少年野球との交流も考えている。黒埼まつりなども萎縮することなく元気を出して実施して欲しい。

西区の重点的な取り組みとして3つの柱を立てている。第1の柱は、新潟大学との連携した事業の推進。音楽・文化・芸術・農業・健康などについて、教員とか学生の協力をいただきながら事業を展開して行きたい。

第2の柱は、内野を中心として西地域と、坂井輪と黒埼の各区域が、西区としての一体感に欠けている。様々な行事を通じて、地域、世代を超えた西区民としての一体感を醸成して行きたい。

第3の柱が超高齢社会への対応。南ふれ協管内の65歳以上の高齢者が平成21年で26.8%(4人に1人)。25年後には人口の推計で40%(5人に2人)となることが確実視されている。社会全体として長寿を喜び合える仕組みや制度を今のうちから少しずつ準備して行きたい。具体的には元気なお年寄りにはさらに元気になっていただくことの施策を考えている。高齢者世帯を中心に保健師が訪問して声掛けを行っていることの強化も考えている。



3本柱の他に今一つ重要なこととして、防災力の充実強化に努めたい。喫緊の課題として地震を想定した現在の避難所を見直し、堤防河川の氾濫とか津波に対応できる高い建物への対応を急ぎたい。要援護者の避難誘導への対策の強化も図りたい。超高齢社会、防災、環境への問題が山積している。行政だけでは限界がある。地域の力を活用しながら事業の効果を高めて行きたい。

[南ふれ協からの提案]

①県道新潟燕線の整備促進について

<南ふれ協>

通過車輛の増加で高齢者や子どもに対して危険が及んでいる。スマートインターや運動公園などの完成で更に通過車輛の増加で混雑が見込まれる。

<西区役所>

現段階での新潟燕線の整備計画はない。入ってくる車輛はできるだけ排除していきたい。運動公園や埋蔵文化財センターへのルートは、新田清掃センターの道路と亀貝インターからは広域農道を利用いただくような案内看板で誘導することを考えている。カーブミラー等の安全性への配慮はして行きたい。

<関連質問>

車の誘導で、黒鳥部落から黒埼病院に向かう市道から広域農道の横断がますます困難になる。信号機の設置を再度要望したい。

<西区役所>

交通量調査を見て対応(警察と協議)したい。

②緒立遺跡の整備促進について

<南ふれ協>

旧武田邸跡地や緒立八幡宮を核とした史跡公園の整備促進をお願いしたい。

<西区役所>

史跡のある地域に相応しい施設として埋蔵文化財センターができた。みどりと森の運動公園と併せて観光面で活かして行きたい。緒立の史跡は県の指定である。市単独で判断できない部分もあるが、地元と相談しながら進めたい。

③釈迦堂遺跡の整備促進について

<南ふれ協>

御堂の維持や敷地の管理に経費、労力共に嵩んでいる。釈迦堂遺跡を運動公園がらみの史跡として残したい。

<西区役所>

神社とか仏像を市が管理することは政教分離からして難しい。なお、釈迦仏像は合併前から町指定文化財で、市も文化財として引き継いでいる。御堂はそれほど古くもなく文化財に指定するに無理があるというのが専門家の意見である。

「南ふれ協」総会を開催！

西区政懇談会に引き続いて、平成23年度の「南ふれ協」の総会を開き、議案の審議を行いました。

江端直樹会長から「黒埼地内の4ふれあい協議会が共同申請して、地域活動振興補助金の対象事業となるような計画を青少年育成協議会が考えている。南ふれ協も、板井、木場、黒鳥、北場の4部落共同の事業計画として積極的に取り組んで参りたい。」旨の挨拶を行いました。



江端会長

続いて、来賓者の鈴木亨西区長から「南部公民館が4月にオープンした。ふれあい協議会の活動の拠点に位置づけて、まちづくりセンターの看板もつけさせていただいた。西区内15のコミュニティ協議会（ふれあい協議会）で初めてのスタートでもある。皆さんの活動に注目したい。」旨の挨拶がありました。

鈴木区長

続いて、永井武弘市議会議員から「まちづくりセンターを拠点にして、地域のふれあいが進むものと思っている。ふれあい協議会が成立して満5年を経過した。この間の活動は大変素晴らしく、少ない補助金を大きく活用する英知に感銘している。」旨の挨拶がありました。



永井市議

加藤雅之黒埼南小学校長から「ふれあい協議会の教育文化部から、いろいろな協力をいただいて有意義な楽しい活動をする事ができた。この施設のギャラリーのアートは子ども達が、地域の皆さんと一緒に作って作成してきた。今年はアートの入れ替えや空想動物遊園にも参画して行きたい。」旨の挨拶がありました。

加藤校長

以上、会長挨拶と来賓挨拶に続いて、平成22年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告を承認し、引き続き、平成23年度事業計画と収支予算を審議しました。概要は、次のとおり。

<事業計画>

■ 教育文化部会

- (1) 黒埼南部公民館玄関装飾事業（新規）
- (2) お正月飾りをみんなで作ろう（継続）
- (3) 黒埼南アート事業（継続）
- (4) 黒埼南小学校伝統芸能育成（継続）
- (5) 南小学校卒業記念品贈呈事業（継続）

■ 健康福祉部会

- (1) 南部地区ゲートボール大会（継続）
- (2) 健康ウォーキングを通して埋蔵文化遺産の歴史を学ぶ（継続）
- (3) 健康増進講座（継続）
- (4) 黒埼南小学校伝統芸能育成（継続）
- (5) 南小学校卒業記念品贈呈事業（継続）

■ 生活環境部会

- (1) 生活安全講習会（継続）
- (2) 環境関連施設見学会（継続）

■ 広報部会

- (1) 広報誌「ふれあいかわら版」発行事業（継続）年5回

<収支予算>

| | | | |
|---------|----------|--------|----------|
| ● 収入の部 | | ● 支出の部 | |
| 繰越金 | 72,539円 | 協議会運営費 | 415,000円 |
| 運営助成金 | 200,000円 | 事業費 | 255,000円 |
| 事業補助金 | 200,000円 | 予備費 | 33,000円 |
| 地域活動支援金 | 50,000円 | | |
| 諸収入 | 180,461円 | | |
| 計 | 703,000円 | 計 | 703,000円 |

続いて、黒埼南南部公民館の管理を新潟市から受託したことに伴い、黒埼南ふれあい協議会規約の変更に関する件を協議し、名実共に黒埼南ふれあい協議会が黒埼南南部公民館を管理することになりました。関連して黒埼南部公民館特別会計収支予算を決定しました。

| | | | |
|----------|------------|--------|------------|
| ● 収入の部 | | ● 支出の部 | |
| 繰越金 | 0円 | 協議会運営費 | 4,980,000円 |
| 公民館管理委託料 | 4,980,000円 | | |
| 計 | 4,980,000円 | 計 | 4,980,000円 |